

2020年1月24日

## KPKシリーズ最新機種へのリプレースについて

オムロン株式会社  
環境事業本部

本資料は、既設のパワーコンディショナを KPK シリーズの最新機種にリプレースする場合の条件や注意点についてまとめています。リプレースができないケースについては、既設のパワーコンディショナや接続されている表示器等を全て取り外し、新規設置と同等になりますのでご了承お願い致します。

※KPK シリーズの最新機種は下記 URL よりご確認ください。

<https://www.omron.co.jp/energy-innovation/product/kp/kpk.html>

### 1. 既設のパワーコンディショナからのリプレース可否

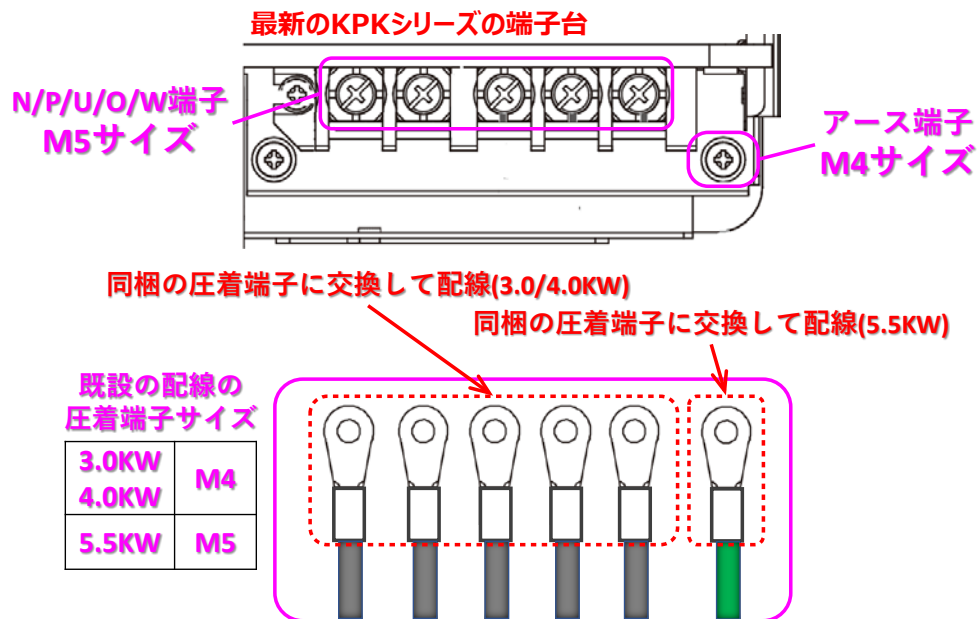
既設の パワーコンディショナの形式		接続されている 表示器等の形式	リプレース 可否	リプレース時の注意
KPK2	KP30K2(-A)	KP-MU1P/KP-MU1F	○	ケーブルの長さが足りない場合 や圧着端子の交換ができない 場合は、リプレース用配線延 長キット(別売品)が必要です。
	KP40K2(-A/-P) KP55K2(-A/-P)	KP-CM2/KP-CM2F		
KPK	KP30K KP40K(-P) KP55K(-P)	KP-MU1P/KP-MU1F		
		KP-CM2/KP-CM2F		
		KP-CM		
		KP-DP1	×	パワーコンディショナと表示器をす べて取り外し、新規設置と同等 になります。
KP40H	有無によらず			
KP40F/KP55F/KP55F-N	有無によらず			

※既設のパワーコンディショナの形式の()内の文字は付加される場合があることを示しています。

### 2. リプレース時の注意点

配線口から端子台の位置と端子台のネジサイズが変わっているため、既設の配線ケーブルの圧着端子を交換する必要があります。

定格容量	既設/最新の区分	端子台の位置	端子台のサイズ N/P/U/O/W	端子台のサイズ アース端子
3.0kW 4.0kW	既設の KPK2/KPK	奥(配線口付近)	M4	M4
	KPK シリーズ最新機種	手前(配線口から遠い)	M5	変化なし
5.5kW	既設の KPK2/KPK	奥(配線口付近)	M5	M5
	KPK シリーズ最新機種	手前(配線口から遠い)	変化なし	M4



※配線ケーブルの長さが足りない場合、または圧着端子が交換できない場合は、以下のリプレース用配線延長キット(別売品)を使用して配線してください。

### 3. リプレース用配線延長キット (別売品) について

配線ケーブルの長さが足りない場合、または圧着端子が交換できない場合に必要です。リプレース用配線延長キットは、パワーコンディショナの定格容量により使用するキットの商品形式が異なりますのでご注意ください。

定格容量	使用するリプレース用配線延長キットの商品形式
3.0kW、4.0kW	形 KP-SP-K30A-RP1
5.5kW	形 KP-SP-K30A-RP3

使用方法は同梱の施工マニュアルをご確認ください。

または下記 URL よりダウンロードしてご覧ください。

<https://download.energy-innovation.omron.co.jp/dl01/>

以上